

低学年授業改善プラン

	児童の課題	改 善 策
国語 1年	・場に応じた声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。 ・伝えたい事柄を明確にしたり、順序を考えたりして、話したり書いたりすること。 ・読書に親しむこと。 ・場に適した言葉遣いをする。	・ペアからグループ、学級全体へと、話す相手を変えて発表する。聞き手に届く適切な声量や速さが身に付くように、スピーチをしたり、発表したりする機会を多くもつ。表記と発音の一致ができるように語彙を増やす活動を取り入れる。 ・伝えたいことを順序に沿って話せるように、メモしたり、理由を付けて話したりするよう指導する。また、書いた文章は、繰り返し読む時間を十分にとる。 ・いろいろな種類の本の読み聞かせを行い、読書の楽しさを実感させる。また、図書の時間をはじめ、十分な読書の時間を設ける。 ・日々の学校生活の中で児童が意識していけるように、その都度、場に応じた具体的な言葉遣いの指導を行う。
2年	・大事なことを落とさないように集中して聞くこと。 ・相手に伝わるように、自分の行動や経験に基づいて、話す事柄の順序を考えながら話すこと。 ・文と文のつながりに注意しながら内容のまとまりが分かるように、書き表し方を工夫すること。 ・正しい文字や整った文字を書くこと。 ・読書習慣を身に付けること。	・話し手を見ながら集中して聞くことを継続的に指導する。また、順を追ってメモをとることを繰り返し行い、大事なことを落とさないように聞く経験を増やす。 ・伝えたいことを話す際には、内容が相手に伝わるように組み立てメモや話型を活用して、事柄の順序を整理して話すように指導する。 ・読む速さや姿勢に注意してはっきりした発音で話すことができるように継続的に指導する。 ・句読点の使い方、助詞の使い方、かぎ（「」）の使い方など、文章表現をする上での基本を丁寧に指導する。また、普段から原稿用紙を使って書いたり日記など文章を書くような家庭学習を取り入れたりで、定着を図る。 ・「はじめ・中・おわり」の文章構成を、教科書の文章から学び、作文などの表現活動を通して定着させていく。 ・書いた文章を読み返す習慣を付けたり、友達と読み合う時間を確保したりして、文と文のつながりやまとまりを意識させる。 ・小テストや漢字ドリルを活用して、正しい漢字の書き方を定着させる。 ・図書の時間を充実させて、様々なジャンルの本に親しむようにする。 ・司書教諭と連携を取り、関連図書を教室に適宜配置したり、読み聞かせを行ったりする。
算数 1年	・基礎的・基本的な知識・技能を身につけること（たし算、ひき算） ・集合数、順序数の違いを捉え、正しく使い分けることができること。 ・何時、何時半などの時刻の読み方や表し方を理解すること。	・たし算とひき算の計算について、計算カードやスキル、宿題プリントなどを用いて、繰り返し練習に取り組む時間を設定する。 ・児童の実態に合わせて、具体物を使ったりブロックを使ったりして正確に計算できるように指導する。また、丸などの簡単な図（アレイ図）で表すことでたし算やひき算の場面を把握できるようにする。 ・日常生活の場面を思い出したり、友達と問題を出し合ったりしながら、繰り返し復習できるようにする。 ・学習の時間だけではなく、学校生活の場面でも「長い針が5まで」という指示から「25分まで」のように変え、時刻や時間の読み方を意識して生活できるようにする。
2年	・基礎・基本となるたし算・ひき算の筆算や九九を身につけること。 ・数量や図形の学習の内容について、理解できるようにするとともに量感をもつこと。	・繰り上がりのある加法・繰り下がりのある減法や乗法九九の計算の仕方をドリルやプリント、計算カードを用いて反復練習を行うことで、定着を図る。ワークテストの結果によって補習を行い、知識及び技能を身に付けさせる。 ・計算力を上げるため、繰り返し練習する時間を設定し定着を図る。 ・具体物を使って数学的活動を通して理解を確実にしていく。mm、cm、m、mL、dL、Lなどの単位の相互関係をきちんと理解できるようにする。

	・時刻と時間の概念を理解し、日常生活に用いること。 ・自分の考えをもち、表現すること。	・時計の文字盤などを使い、具体的な目盛りを数える活動を通して時刻や時間を求められるようにする。 ・図を活用して、演算決定の理由や解き方を考えさせ、既習事項をもとに児童自身が自分の考えをもてるようにする。友達の考えを聞き、相互評価することで、自分の考えを説明する仕方を身につけさせる。
生活 1年	・身近な人々に関心をもち、ふれあう経験を増やし、楽しく安心して遊びや生活ができること。 ・身近な自然に触れ、遊ぶことで、季節の変化に気付き、自然を利用した楽しい遊びを工夫することができること。 ・昆虫を飼ったり、植物を育てたりして、生き物への親しみをもち、大切にすることができること。	・学校探検を通して、人との関わりを増やす。自分たちの生活を支えている人の存在に気付くようにし、安心して学校生活を送れるようにする。保育園児との交流では、相手が楽しめるような活動や思いやる言葉を使う指導を通して、相手意識をもった関わりになるようにさせる。 ・生活科見学や裏庭探検に出かけるなどの体験を通して、昆虫や草花などの自然と触れ合う機会を多くとる。節句や伝統行事、伝承遊びなどを通して季節の移り変わりを体験する機会を設定する。 ・ダンゴ虫を飼ったりアサガオを育てたりすることにより、昆虫の様子や植物の生長の変化に関心をもち、それらが生命をもっていることに気付き、大切にすることを育てる。
2年	・一年生との交流を深め、上級生としての自覚を養う。 ・野菜を栽培したり昆虫を飼ったりする活動を通して、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、生き物への親しみをもち、大切にすること。 ・公共施設を利用したり、地域で働いている人々に対して関心をもったりして、考えたことを伝え合う活動を通して、自分たちの住む町に親しみや愛着をもつこと。 ・動くおもちゃを作ったり遊んだりする活動を通して、工夫することの面白さや不思議さに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出すこと。	・学校探検をしたり、作った玩具を発表したりして、交流を深め、2年生として自分の役割が増えたことに気付くことができるようにする。 ・栽培や飼育への意欲を高めるために、野菜や昆虫といった学習対象を、図鑑等を使って調べ、自ら選択する場面を設定する。 ・友達に伝えたいという思いを実現したり、考えを聞き合って新しいことに気付いたりするために、変化や成長を伝え合う時間を設ける。 ・地域の場所や人に対して、児童がどのように関心をもっているのかを把握して、指導計画を立て、実際に訪れる。 ・安全に気を付けたりマナーを守ったりして地域の場所や人と接することができるように、時や場に応じて具体的に指導する。 ・気付いたことを基に考えることができるように、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの活動の充実を図る。 ・遊びを発展させる中で気付きの質を高め、遊びを創り出すことができるようにするために、コーナーを分けたり、グルーピングを変えたりするなどの環境構成を工夫する。
音楽 1年	・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫すること。 ・鍵盤ハーモニカに親しみ、リズムに合わせて正しい指づかいで演奏すること。	・拍の流れに乗って表現の仕方を工夫する学習に重点を置いた指導を進める。①身体表現②言葉や手拍子を組み合わせたりリズム遊びなどを取り入れ、表現を広げるための技能を身に付ける。 ・音の高低を感じ取りながら揃って歌ったり演奏したりできるように取り組む。 ・鍵盤ハーモニカの音色に関心をもたせ、タンギングなどの基本的な奏法を身に付けるようにさせる。また、副教材の楽曲では、一人一人検定を行い、繰り返し練習する機会をもつ。
2年	・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、自分の思いに合った表現をすること。 ・身近な楽器に親しみ、思いに合った演奏をすること。また、そのた	・音の高低を感じ取りながら歌ったり演奏したりできるように、身体表現を使うなどしながら階名の模唱や暗唱に取り組む。 ・拍のまとまりや拍子の違いを感じ取るために、音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり、友達の演奏を聴いたりする。 ・鍵盤ハーモニカの基礎的な奏法を段階的に指導する。異なる曲想の曲の演奏に取り組み、音色などの違いを楽しみ、音色に気を付けて演奏できるようにする。 ・リズム譜を見て歌ったりリズムを手で打ったりする活動を通して、拍の流れにのってリズムよく演奏することに慣れ親しむことができ

	めの技能を身に付けること。	るようにする。 ・打楽器の音色の違いを楽しむことができるように、様々な楽器を体験する機会を設ける。
図工 1年	・材料や用具の特性や使い方を知り、自分の表したいことを工夫して表現すること。 ・造形的な面白さや楽しさを知り、表したいことを見つけ表し方について考え、工夫すること。 ・自分の見方、感じ方を広げること。	・身近なことを題材にして、手や体全体の感覚などを働かせて絵や立体を表現する活動を通して感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んで工夫して表現できるよう、場の設定を工夫する。 ・造形的な面白さや表したいこと、表し方を考え、豊かに構想したり、形や色、材料の特性や良さなどに気付き、自分の作品に生かせるように、友達の作品を見る時間を多くもつ。 ・様々な表し方、作り方の基本を知る時間と、それを実践する時間を多くもつ。
2年	・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、自分の表したいことに生かすこと。 ・身の回りの作品を鑑賞する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げること。	・身近なことを題材にして、手や体全体の感覚などを働かせて絵や立体を表現する活動を通して感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んで工夫して表現できるようにする。 ・自分の表したいことを、様々な材料で試す経験を繰り返し、作品に生かすよう指導する。 ・基礎的な用具の扱い方を繰り返し指導し、習得できるようにする。 ・友達の作品を見る時間を確保し、友達の作品の面白さを感じ取り、作品を鑑賞する楽しさを味わうと共に形や色に関心をもち、楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
体育 1年	・めあてをもって運動すること。 ・ルールを守って友達と楽しく運動すること。 ・基本的な動きを身に付けること。	・それぞれの運動に沿っためあてを示し、児童がめあてに向かってどのように取り組むか、見通しをもてるようにする。 ・ルールを守ることや協力して運動することで、安全に楽しく運動ができることを意識付け、すすんでルールを守ったり友達と協力しようとしたりする態度を育てる。 ・さまざまな運動遊びを通じて体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けることができるようにする。 (体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動きなど)
2年	・めあてをもって運動すること。 ・いろいろな運動遊びを通して楽しさを知り、基本的な動きを身に付けること。 ・誰とでも仲良く運動できること。 ・意欲的に運動に取り組むこと。	・学習カードを使い、運動遊びにおける自分のめあてを選んだり、考えたりしながら運動し、振り返りができるようにする。 ・体のバランスをとる、体を左右、ジグザグに移動する、前方や上方に跳ぶ、ボールの操作をする、力試しの動きなどを楽しみ、様々な運動経験をさせ、基本的な動きを身につけるようにする。 ・鬼遊びやゲームでは、ペアやグループでの活動を通して作戦を工夫して考えて取り組める活動を取り入れる。 ・遊びやゲームを通して、順番やきまりを守ることや協力して仲良く勝敗を競うことの大切さを経験できるようにするため、ルールや約束を明確に示していく。また、自分達がルールを決めて活動できる楽しさも味わえるように、単元計画を工夫する。 ・ゲームのルールをよく理解し、勝ち負けを受け入れて楽しむことができるようにする。 ・楽しんで取り組めるようにそれぞれの運動遊びにゲーム性をもたせて、遊びながらいろいろな動きを経験できるように工夫していく。